

高等学校 芸術科（美術） 学習指導案

大阪府立〇〇高等学校

指導者 〇〇 〇〇

1. 日 時 平成〇年〇月〇日（〇）第〇、〇限

2. 場 所 美術教室

3. 学年・組 第1学年〇組（〇名）

4. 単元（題材）名 グループ鑑賞「言葉で伝える」（使用図書：日本文教出版「高校生の美術1」）

5. 単元（題材）の目標

1. 鑑賞の活動を通じて、美術作品のよさや美しさなどを感じ取り、作品への理解を深める。
2. 周囲との意見交換をすることで、さまざまな価値観や新たな視点の発見につなげる。

6. 教材観

鑑賞した作品から、自分を感じ取ったことや考えたことなどをお互いに言葉で説明し合う活動を通して、美術作品のよさや美しさなどを感じ取り、作品への理解を深めてほしい。また、グループ内での他者の意見を傾聴し、感じ取ったイメージを表現することで、自分にはない新たな見方や感じ方に気づき、視点を広げてほしい。

7. 生徒観

（省略）

8. 指導観

「鑑賞する＝むずかしい、分かりにくい」という先入観を持たせないよう、自分の言葉でわかりやすく伝えることが大切ということを強調する。作品の良さや美しさなど感じ取ったことや考えたことを色や形、言葉などの言語を通じて他者に伝えることができるよう、適時グループ活動を取り入れる。グループ活動では、役割分担して話し合う時間や、代表して発表する時間を作り学んだことを共有する時間を設定し、個人での鑑賞活動とのメリハリをつけ自分にはない新たな見方や感じ方に気づき、視点を広げることができるようにする。

9. 単元（題材）の評価規準

観点	【関】美術への関心・意欲・態度	【発】発想や構想の能力	【創】創造的な技能	【鑑】鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、理解を深めようとしている。	感性を豊かに働かせて、相手にイメージを伝える工夫ができ、他者の意見を聞き、新たな視点で作品をとらえることができる。	造形的なよさや美しさに気づき、制作過程や表現の工夫などの追体験を通し、自己の表現に生かすことができる。	よさや美しさなどを感じ取り、交流を通して、作品や鑑賞に対する理解を深めることができる。

10. 単元の指導と評価の計画（全4時間）

時	学習活動および内容	おもな評価規準
第1時	○人物クロッキーの鑑賞 1 学期間に行った人物クロッキーから一枚提示、相互鑑賞し、意見を発表する。	・主体的に作品を鑑賞し、よさや美しさなどを感じ取り、討論や批評をし合ったりすることを通して、作品に対する理解を深めようとしている。 【関】
第2～3時 (本 時)	○グループ鑑賞 作品をグループで鑑賞し、相手に言語活動を通じて作品のよさや表現方法を伝える。グループで協力しながら対象の作品をスケッチする。その後各グループで発表する。 グループ鑑賞の振り返り。	・他者の意見を聞き、新たな視点で作品をとらえ直したりすることができる。 【発】 ・制作過程や表現の工夫などの追体験を通し、作品への理解を深めることができる。 【創】
第4時	○美術館での作品鑑賞 高校展の作品を鑑賞する。レポート提出。	・美術作品に対し、感性を豊かに働かせて能動的に接し、感じ取ったことや分析したことを、相手に伝える工夫がなされている。 【鑑】
第5時	○美術作品鑑賞 映像メディアを用いて美術作品の鑑賞をおこなう。個人での鑑賞をおこなう。その後で他者の意見を聞き、 作品の着目点やイメージの変化を振り返りシートで考える。	・美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、理解を深めることができる。 【関】 ・討論や批評をし合ったりすることを通して、作品や鑑賞に対する理解を深めていくことができる。 【鑑】

11. 本時（２・３時）の展開

(1) 本時の目標

感性や想像力を働かせて作品を鑑賞し、他者の意見を聞くことで、新たな視点で作品をとらえる。
制作過程や表現の工夫などの追体験を通し、作品への理解を深める。

(2) 本時（２・３時）の評価規準

- 感性や想像力を働かせて作品を鑑賞したり、他者の意見を聞くことで、新たな視点で作品をとらえることができる。【発】
- 制作過程や表現の工夫などの追体験を通し、作品への理解を深めることができる。【創】

(3) 本時（２・３時）の準備物

教科書、筆記用具、スケッチ用紙、振り返りシート

(4) 本時（第２、３時）の学習過程

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入 (10分)	・本時の流れおよび目標の理解。 ・グループ内で説明係を決定。	・本時の流れおよび目標を予め板書する。 ・グループでの鑑賞ルールの説明。 ・鑑賞作品を説明係だけに指示する。	
グループ活動 (30分)	・説明係は他のメンバーに鑑賞作品を言葉で伝える。 ・他のメンバーは作品で分からないところやイメージが伝わらないところを質問する。 ・グループ内で係を交代する。	・自分の言葉で伝えることを強調する。 ・質問や意見をたくさん出すよう促す。 ・説明者を２回交代させる。 ・質問や説明のヒントはタイミングを見ながら助言する。 ・各グループで係の決定。	【発】
共有 (10分)	・各グループで出た意見の発表。	・グループ内で出た意見を発表させる。 ・スケッチ用紙の配付。 ・次の鑑賞作品を説明係に指示。	
グループ活動 (30分)	・説明係は他のメンバーに鑑賞作品を言葉で伝える。 ・他のメンバーは作品で分からないところやイメージが伝わらないところを質問する。 ・グループ内の意見を元に作品のスケッチを作成する。	・グループでの協力を促す。 ・各グループで意見・スケッチをまとめさせる。	【創】
まとめ (20分)	・スケッチを各グループごとに発表。 ・振り返りシート記入。	・スケッチの鑑賞。 ・振り返りシートの配付。 ・作品についての解説をおこなう。 ・自分の考えをまとめる。	

